

平成24年度 地域活性化事業交付金 交付決定事業一覧〔緑区橋本地区〕

平成24年12月21日現在

No.	事業名	団体名	事業の目的・内容	交付決定年月日	交付決定額 (単位:円)	全体事業費 (単位:円)
1	「橋本地区文化財お散歩MAP」制作	橋本の歴史を知る会	<p>【事業の目的】 橋本・宮上地域の住民が、住んでいる土地の歴史を知り、先人の努力を感じつつ愛着を持てるよう、文化財MAPを作成し、地域・学校などへの配布を行う。 次年度には、このMAPを活かして、地域の方を対象に歴史散歩などの事業も計画しており、より多くの方に広めたい。</p> <p>【事業内容】 橋本公民館区内の文化的遺産を調査、拾いだししてMAPを作成する。 掲載内容については、日頃から調査研究している橋本地区の文化遺産とし、見開きでA4版タテを4枚並べた大きさの中に、文化遺産の写真や紹介文とともに、地図上に番号を振って場所もわかるように掲載する。 完成した文化財MAPは、自治会や公民館の協力を得て橋本・宮上地域に配布し、さらに、教育の現場でも役立てていただけるように地域の小・中学校に寄贈する。</p>	平成24年9月27日	798,000	823,525
2	地域コミュニティと商店街の振興事業	相原地区地域活性化委員会	<p>【事業の目的】 昨年同様地元の小学校児童の書道作品をフラッグにして掲示することで、それを見に来る児童や家族、近所の相互交流を深め、世代間や近所同士の地域コミュニティの活性化を図る。 また、この事業を通して相原二本松商店街の注目度を高めると共に、加盟店の周知を図り、集客力を強化して商業活動を活発化することで、更に利用しやすい商店街を目指して、周辺住民の利便性向上を図る。</p> <p>【事業内容】 地域コミュニティ活性化及び、商店街の集客力向上策としての要素を兼ねた「商店街街路灯フラッグ」の掲示事業と地域イベント「相原二本松ふれあい市」の開催。 ①『書道フラッグ』 地域活動支援センターや福祉作業所(「さくらの家」「すぺーすあい」「ふれあい作業所」)の障がいをお持ちの方に作成してもらった無地のフラッグに、相原小学校・二本松小学校・当麻田小学校の児童に墨汁で書を書いてもらい、完成した「書道フラッグ」をお披露目後に商店街街路灯に掲示する。 ②『相原二本松ふれあい市』 地域住民や商店などが出店して地域の賑わいをつくり出す『相原二本松ふれあい市』を開催する。地域の方々の手作り作品などの販売・展示を行うほか、近隣の小学校PTAによる出店や、地域の方による子ども向け木工教室など、話題性を高めるためのブースも設置する。</p>	平成24年10月9日	462,000	774,930

3	西橋本あじさい自治会 自治会加入促進事業	西橋本あじさい自治会	<p>【事業の目的】 西橋本あじさい自治会内には、小・中学校の子供がいる世帯が非常に多いことから、子供に関わる課題に取り組み、自治会の理解を深め、子供がいる対象世帯を重点に加入促進に向けた取り組みを進めていきたい。</p> <p>【事業内容】 ①自治会内の地域住民と自治会で「避難所などの選定」、「自主防災組織の組織化と役割」など協議を進め、避難所の選定決定後、自分たちの地域で今災害が起こったらどのように自助・共助の取り組みをするのかを行政などの協力を得ながら、「峡の原あじさい公園」で、「防災訓練・自主防災組織活動体験学習研修会」を実施し、自主防災組織の重要性の理解をしていただきながら自治会加入促進の活動へつなげていく。 ②子どもの安全地域力アップ事業「今まで地域で設置されてなかった「こども110番」を地域に設置し、周知啓発活動を進めていく。」「子ども見守り隊の結成を視野に入れ、地域の協力体制が図れるような啓発活動を展開していく。」「防犯パトロール実施中」の自転車用シートを作成し、地域の方に配布しながら、地域ぐるみで防犯強化に取り組む。」「親子交通安全教室を実施し、自転車のマナーアップ、子どもの飛び出し防止など、啓発活動を実施する。」 ③地域課題である「自主防災組織」「一時避難場所」「避難所」がひと目で分かる資料を作成し、戸別に訪問しながら自治会加入活動を展開していく。また、「自治会加入促進アンケート」を実施し、自治会加入意向確認を同時に行っていく。 ④子育て世代の方々に未加入世帯も多いことから、橋本小PTA役員でもある会員の方に参画していただき、実行委員会形式で、「地域交流子どもイベント」を実施する。</p>	平成24年11月26日	250,000	300,000
4	安全・安心まちづくり推進・自治会加入促進事業	橋本地区自治会連合会	<p>【事業の目的】 昨年度、安全・安心なまちづくりに自治会が果たしている役割の大きいことを理解いただくために、「自治会活動紹介パンフレット」を作成し、PR活動を展開した。 平成24年度は、橋本地区自治会連合会、行政・警察・まちづくり会議構成の各種団体と連携を図りながら、地域ぐるみで次の事業を実施し、さらなる自治会加入促進を目指します。</p> <p>【事業内容】 ①橋本地区では、特に橋本駅周辺での自転車事故が非常に多く、また、自転車の盗難が多いことから、地域ぐるみで安全・安心への取り組みが必要となっている。 特に自治会が中心となって役割を果たすことにより、自治会の必要性が理解されることから、今回、親子自転車安全教室を実施し、さらに、プロ・スタントマンによる「交通安全プログラム」である「スクエアドストリート(恐怖体験)」を自治会及びPTA・学校・警察・行政・各種団体が連携して開催する。参加にあっては、自治会未加入世帯の方にも積極的に呼びかけ、効果的な事業を実施していく。 ②災害時の避難所運営は、自治会が主体となり、避難所運営協議会が行うことになるが、3・11の東日本大震災の際には、駅周辺の高層マンションの自治会未加入の方などが急遽避難されるなど駅周辺の避難所運営に多くの課題が生じており、また、大規模災害に備えて、どのように避難所を運営したらよいかという課題等もある。 そのことから、今回、先進地で活用されている迅速な対応を訓練するシュミレーションゲーム「避難所運営ゲーム(HUG)」を橋本地区でも取り入れ、地区全体で勉強会を開催しながら、避難所運営のあり方も懇談する。その後、避難所単位でゲームを進めながら、それぞれの避難所運営を考える良い機会とする。さらに橋本地区の高層集合住宅の管理組合とも連携を目指し、最終的には、平成25年2月の地区連合自主防災隊訓練につなげていく。その取り組みにより、自治会と地域の連携強化が図られ、自治会加入促進につなげる。</p>	平成24年12月21日	525,000	687,000

5	災害への備えと自治会加入の促進事業	橋本地区まちづくり会議 自治会部会	<p>【事業の目的】 橋本地区は自治会加入率が50%を下回っており、地域コミュニティや自治会活動が危機的状況なので、自治会活動を盛り込んだ災害時に備えるためのチラシを作成し、まちづくり会議と自治会が連携を図り、自治会加入促進を実施する。 また、各避難所には避難所運営協議会が組織されているが、特に自治会未加入者に避難所が知られてないことや災害時の安心感や家族が離ればなれになった場合の「我が家の取り決め」にも役立つことから、地域の各所にその自治会区域の避難所名や避難所の運営主体が自治会であることを記載した避難所表示板を作成・設置し、自治会活動への理解を深め、自治会加入へと繋げる。</p> <p>【事業内容】 自治会活動を盛り込んだ災害時に備えるためのチラシを作成し、まちづくり会議と自治会が連携を図り、自治会加入促進を実施する。具体的な配布方法として、自治会が主体となり、自治会未加入者に対して、原則手渡しで配布を行うとともに、まちづくり会議委員が所属する団体においても、会議時や事業内においてチラシを活用して自治会加入促進活動を行う。 また、各避難所に避難所運営協議会が組織されているが、何処の避難所に行けば良いのか知らない地域住民もいるため、地域の各所に避難所の場所を示した避難所表示板を作成・設置するとともに、運営主体が自治会であることを記載し、自治会活動への理解を深め、自治会加入へと繋げる。</p>	平成24年12月21日	693,000	693,000
---	-------------------	----------------------	--	-------------	---------	---------